

# 障害者・障害児心理学

科目コード

FE3549



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
2	R or SR(講義)	2年以上	大関 信隆

※2017年度以前・2018年度以降に入学した方どちらも履修登録できます。「障害児の心理」の単位修得者も履修登録可能です。

※教科書選定中につき、「■教科書」、「レポート学習」の項目は、7月以降にご案内いたします。

※履修登録は可能ですが、教科書の配本や学習開始は8月以降になる予定です。9月卒業予定者は履修登録をご遠慮ください。

## 科目の概要

### ■科目の内容

この科目では、身体障害や知的障害、精神障害などの障害を持ちながら生活をしている人々の心理・行動面に関する理解を深めることが目的です。それぞれの障害像はどのようなものなのか、それにより引き起こされる心理・行動的諸問題はなにか、どのような社会的課題があり、どのような支援が可能なのかについて、学びを深められればと思います。

教科書やレポート学習で主に学ぶ内容としては、障害に対する基本的な考え方や一般的なメカニズム、心理社会的課題などに関する基礎的事項が含まれます。スクーリングで主に学ぶ内容としては、各種障害の状態像や、心理社会的支援に関する内容などが含まれます。

※この科目の担当教員は、心理的支援の実務経験を有します。

### ■到達目標

- 1) 身体障害に関する障害像や心理行動的特徴について説明できる。
- 2) 知的障害や発達障害に関する障害像や心理行動的特徴について説明できる。
- 3) 精神障害に関する障害像や心理行動的特徴について説明できる。
- 4) 障害を捉えるモデルを説明でき、その受容過程について考察できる。
- 5) 精神疾患や発達の障害に対する心理社会的な援助方略について説明できる。

### ■教科書

※現在選定中です。履修登録者には8月以降に配本予定です。

(スクーリング時の教科書) スクーリングでは教科書を部分的に使用します。基本はレジュメが中心になります。

## ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

心理実践力を身につけるために、特に「総合的な人間理解力」、「批判的・創造的思考に基づく問題発見・解決力」、「共感と自己尊重に基づくコミュニケーション力」、「心理学の学びを活かした社会貢献力」を身につけてほしい。

## ■科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価or科目終了試験50%

## ■参考図書

- 1) 小此木啓吾・大野裕・深津千賀子編『心の臨床家のための精神医学ハンドブック』創元社、2004年
- 2) 齋藤万比古編『発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート』学研、2009年
- 3) 滝川一廣著『子どものための精神医学』医学書院、2017年
- 4) APA著、滝沢龍訳『精神疾患・メンタルヘルスガイドブック DSM-5から生活指針まで』医学書院、2016年
- 5) 田中農夫男・木村進編『ライフサイクルからよむ障害者の心理と支援』福村出版、2009年
- 6) 上島国利監『最新図解 やさしくわかる精神医学』ナツメ社、2017年
- 7) 横田圭司・千田若菜・岡田智著『発達障害における精神科的な問題 境界知能から最重度知的障害の91ケースを通して』日本文化科学社、2011年

## スクーリング

### ■スクーリング受講条件

2018以降入学者：心理学概論A・B、福祉心理学、発達心理学、4科目の単位修得

2017以前入学者：心理学概論、福祉心理学、生涯発達心理学、3科目の単位修得

### ■スクーリングで学んでほしいこと

精神や発達の障害というのは、人によってはなかなかイメージし難いものです。スクーリングでは、各種障害の状態像について映像資料なども活用しながら理解を深めていければと思います。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	障害という現象の捉え方	生物・心理・社会モデルと障害の受容について学ぶ
2	身体障害と心理・行動	身体障害に関する心理・行動的特徴や関わり方の基本について学ぶ
3	知的・発達障害と心理・行動	知的障害や発達障害に関する心理・行動的特徴や関わり方の基本について学ぶ

回数	テーマ	内容
4	精神障害と心理・行動①	主に統合失調症やうつ病に関する心理・行動的特徴や関わり方の基本について学ぶ
5	精神障害と心理・行動②	主に人格障害などに関する心理・行動的特徴や関わり方の基本について学ぶ
6	医療場面で出会う障害と対応	医療場面で出会う可能性のある仮想ケースを用いながら、援助方略について検討する。
7	教育場面で出会う障害と対応	教育場面で出会う可能性のある仮想ケースを用いながら、援助方略について検討する。
8	まとめと質疑応答	全体総括
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

レジュメとスライドを用いながら講義をします。

### ■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100%

講義で用いたレジュメの中から出題します。

### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

発達心理学と臨床心理学の講義内容について、他者に伝達講習ができる程度に復習してください。

## レポート学習

7月以降にご案内します（■在宅学習15のポイント、■レポート課題など）。

## 科目修了試験

### ■評価基準

- 1) 身体障害、知的障害、発達障害、精神障害について、それぞれ代表的な障害について診断の基準や行動像を説明できるか。
- 2) それぞれの障害が、日常生活の様々な場面でどのような困りごとを経験するかについて説明できるか。
- 3) それぞれの障害について、基本メカニズムを理解した上での関わり方や援助の方法について説明できるか。